

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

《大谷口中学校 研究主題》

自ら学習に向かう意識を高める指導法の工夫・改善
～「授業は好きだけど…」から「そうだ、勉強しなきゃ！」へ～

4月

学力向上目標①

- さいたま市学習状況調査の「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問に「肯定的な回答」をする生徒の割合を、全学年で市の平均より5p t 上回った値にする。
- 「家庭学習の習慣化」を図る。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

- 毎日の「チャレンジノート(家庭学習ノート)」と年間5回の「5教科チャレンジカップ(一問一答基礎テスト)」を実施する。

開始期日

5月中

具体的な手立て

- 家庭学習の実績をグラフ化(可視化)し、チャレンジカップ成績優秀者の表彰を通じて達成感や成就感を向上させ、自主的な家庭学習のきっかけづくりを行う。
- 保護者会やお便り等で、ご家庭から家庭学習の協力を得られるよう情報を発信する。

8月

策2

<全国学力・学習状況調査結果分析後>

- 毎日の「チャレンジノート(家庭学習ノート)」と年間5回の「5教科チャレンジカップ(一問一答基礎テスト)」を実施する。

開始期日

2学期

具体的な手立て

- 上記の「具体的な手立て」を継続する。
- 学習プリントを各教科より準備し、家庭学習の支援を行う。

2月

本年度の振り返り

- 「学力向上目標①」に掲げた、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の項目については全学年において市の平均を下回る結果となったが、本校の経年変化を見ると「中3」は8p t 増加している。

達成度

60%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- 「チャレンジノート」の実施方法と、「チャレンジカップ」の出題内容や自主学習方法を見直し、本校の6割以上の生徒が「家庭学習が習慣になった」と実感できる教育を実践する。
- 学習状況調査の「各教科の勉強は好きですか。」について「肯定的な回答」をした生徒の割合が、全教科において市の平均を上回っている学年があるため、その意欲が「家庭学習の習慣化」・「基礎学力の向上」と一体化できるよう研究と工夫改善を重ねる。